

びばい未来交響プラン

(第6期美唄市総合計画)

後期基本計画

概要版

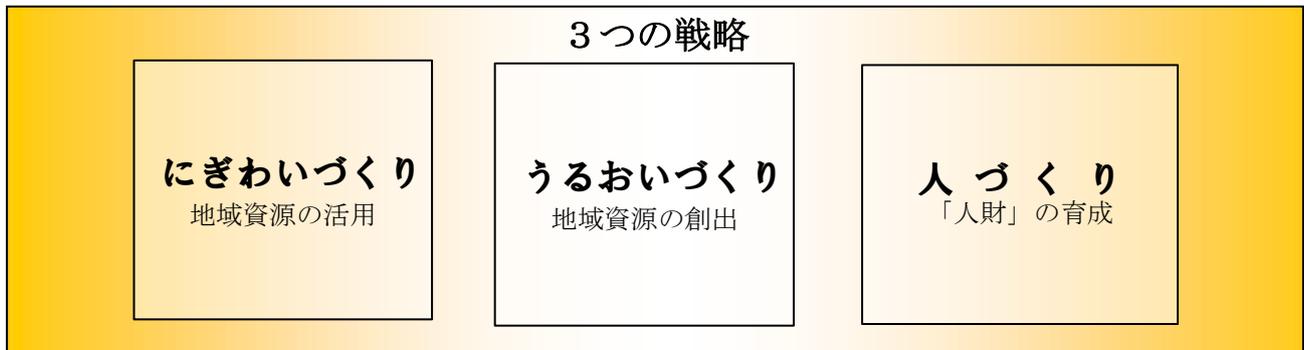
食・農・アートが響き合う 緑のまち 美唄
市民のハーモニーで創る 美しき唄のまちを目指して



美唄市の新しい総合計画（後期基本計画）ができました

今後のまちづくりを進めるための指針となる「びばい未来交響プラン（第6期美唄市総合計画）後期基本計画」（計画期間：平成28年度～平成32年度）ができました。

この計画は、前期基本計画の成果と課題を検証し、人口減少を克服しつつ、活力あるまちづくりに向けて、基本構想に掲げる美唄市の都市像「食・農・アートが響き合う緑のまち 美唄 ―市民のハーモニーで創る美しき唄のまちを目指して―」の実現に向け、長期的展望に立って市が取り組むべき課題、施策の概要を体系的に明らかにし、基本構想の「3つの戦略」、「6つの柱」の実現のための具体的な道筋を示すことを目的として、平成28年度からこの計画に基づき、美唄市のまちづくりを市民の皆さんとともに進めていきます。



6つの柱

第1楽章 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり

施策の柱	[1] 産業づくり	[2] にぎわいづくり
施策	(1) 農商工連携 (2) 農業振興 (3) 商工業振興	(4) 観光・交流 (5) 公共交通 (6) 情報化推進

<重点的な取組み>

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○「食」を生かした商品の開発や6次化に向けた取り組みなどへの支援 ○農業経営の体質強化と安定化 ○中心市街地の賑わい創出と雪冷熱エネルギーの活用による産業振興 | <ul style="list-style-type: none"> ○交流人口の増加と移住定住の促進 ○新たな交流拠点整備のあり方についての検討 ○公共交通の確保と利便性の向上 ○行政情報サービスの充実 |
|---|--|

5年後の目標					
新たに商品化された特産品数		農業総販売額		工業出荷額	
<現状(H25)> 5商品	<目標(H32)> 15商品	<現状(H25)> 51億円	<目標(H32)> 56億円	<現状(H25)> 150.3億円	<目標(H32)> 192億円
農商工連携を進め、商品化され定着した特産品を15商品つくります。		農業振興により、農産物の総販売額を増やします。		工業振興により、工業出荷額の総額を増やします。	
観光入込客数		市内公共交通の満足度		光回線普及率	
<現状(H25)> 31万人	<目標(H32)> 90万人	<現状(H25)> 61.3%	<目標(H32)> 70.0%	<現状(H25)> 87.0%	<目標(H32)> 100%
観光振興・交流推進に取り組み、観光入込客数を増やします。		公共交通が充足していると感じている市民の割合を引き上げます。		市内の光回線サービスエリアに含まれる電話回線加入者数の割合を引き上げます。	

第2楽章 人と文化を育み交流が広がるまちづくり

施策の柱	[3] 人づくり
施策	(7)子育て支援 (8)学校教育 (9)芸術・文化・生涯学習 (10)男女共同参画 (11)平和施策

<重点的な取組み>

- すべての子どもたちが健やかに成長できる環境づくり
- 各学校の創意工夫のある授業、学習規律の周知・徹底による学力の向上、「一校一実践」の改善・充実による体力の向上
- スポーツ健康都市宣言を行い、2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿の誘致

5年後の目標					
子育てしやすいまちだと思える市民の割合		家庭学習を毎日1時間以上行っている子どもの割合		生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合	
<現状(H25)> 28.1%	<目標(H32)> 60.0%	<現状(H25)> 小学生 46.9% 中学生 50.9%	<目標(H32)> 現状値より引き上げます	<現状(H25)> 43.6%	<目標(H32)> 50.0%
子育てしやすいと思える市民の割合を引き上げます。		学力向上のため、家庭学習を毎日1時間以上行っている小中学生の割合を引き上げます。		生涯学習活動を行っている市民の割合を引き上げます。	

第3楽章 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり

施策の柱	[4] 環境づくり	[5] うるおいづくり
施策	(12)自然保護 (13)環境行動 (14)ごみ処理	(15)都市基盤整備 (16)景観・緑づくり

<重点的な取組み>

- 環境保全活動や環境美化活動を推進

- ごみの発生抑制や排出されたごみの減量化・リサイクルの推進
- コンパクトなまちづくりの方向性に対応した住環境づくり、居住環境の向上

5年後の目標					
市内の自然環境の満足度		ごみの適正分別率		都市機能の満足度	
<現状(H25)> 85.3%	<目標(H32)> 現状値より高めます	<現状(H25)> 78.5%	<目標(H32)> 90.0%	<現状(H25)> 68.3%	<目標(H32)> 現状値より高めます
市内の自然環境を保全し、市民の満足度を高めます。		環境意識を高め、適切に分別されたごみの量の割合を引き上げます。		道路などの都市基盤整備を進めJR美唄駅を中心とした都市機能に対する満足度を高めます。	

第4楽章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

施策の柱	[6] 健康づくり	[7] 福祉のまちづくり
施策	(17)保健 (18)地域医療	(19)障がい者福祉 (20)高齢者福祉

<重点的な取組み>

- 市民が健康づくりに取り組むための支援
- 医療と保健福祉の総合的な施設整備

- 障がい者の生活を地域で支える支援体制の確立
- 高齢者が自立した生活への支援

5年後の目標					
自分が健康だと思う市民の割合		地域で生活できている障がい者の割合		自立高齢者率	
<現状(H25)> 64.8%	<目標(H32)> 70.0%	<現状(H25)> 96.2%	<目標(H32)> 96.7%	<現状(H25)> 81.3%	<目標(H32)> 82.0%
健康づくりの取組みにより自分が健康だと思う市民の割合を高めます。		障がい者の自立に向けた取組みを進め、地域で生活できている障がい者の割合を高めます。		保健や介護予防の取組みにより要介護者を抑え、自立して生活できる高齢者の割合を高めます。	

第5楽章 安全で安心して住めるまちづくり

施策の柱	〔8〕安全づくり	〔9〕安心づくり
施策	(21)防災・防犯・交通安全 (22)消防	(23)消費者保護 (24)雇用対策 (25)コミュニティ

＜重点的な取組み＞

- 災害に強い安全で安心な地域づくり
- 消費者被害を未然に防ぐための体制整備
- 火災予防意識の向上
- 障がい者雇用の拡充

5年後の目標					
自主防災組織率		出火率		消費者相談窓口を知っている市民の割合	
＜現状(H25)＞ 14.0%	＜目標(H32)＞ 45.0%	＜現状(H25)＞ 3.3%	＜目標(H32)＞ 0.0%	＜現状(H25)＞ 48.2%	＜目標(H32)＞ 60.0%
自主的な防災活動を行う自主防災組織を増やし、加入世帯数の割合を引き上げます。		出火率（年間の火災発生件数を人口1万人当たりで換算した割合）を引き下げます。		消費者相談窓口を知っている市民の割合を増やします。	

最終楽章 みんなで力を合わせるまちづくり

施策の柱	〔10〕地域経営の確立
施策	(26)協働のまちづくり (27)行財政運営

5年後の目標			
まちづくり参画度		実質公債費比率	
＜現状(H25)＞ 24.8%	＜目標(H32)＞ 30.0%	＜現状(H25)＞ 20.9%	＜目標(H32)＞ 17.9%
協働のまちづくりを進め、まちづくりに参画する市民の割合を増やします。		市の財政状況の健全度を高め、実質公債費比率の数値を改善します。	

＜重点的な取組み＞

- 協働のしくみづくり
- 新しい公共の創出
- 地域主権の推進
- 健全な財政運営
- 政策課題に迅速かつ的確に対応するための効率的な組織づくり
- 「美唄市人口ビジョン、美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「美唄市公共施設等総合管理計画」の推進

びばい未来交響プラン(第6期美唄市総合計画)後期基本計画概要版
 平成28年3月発行 編集・発行/美唄市総務部企画課
 電話0126-62-3137 ファックス0126-62-1088 メールkikaku@city.bibai.lg.jp